



1月1日  
天鼓会による初奉納太鼓  
武州天野流妻沼太鼓「天鼓会」による初奉納太鼓が、たくさんの初詣客で賑わう妻沼聖天山境内に響き渡っていました。



12月19日  
熊谷市行政改革推進委員会が答申書を市長に提出  
熊谷市行政改革推進委員会 松本光弘会長が「熊谷市行政改革大綱」および「前期実施計画書」など答申書を市長に提出しました。



1月12日  
立正大学公開講座  
文化会館で、日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャン氏を講師に迎え、環境や子育てをテーマに立正大学公開講座が開催されました。

1月6日  
出初め式  
高城神社を始め市内各所で恒例の出初め式が行われ、熊谷鷲組合により見事な梯子乗りが披露されました。



1月13日  
第3回新春！  
ぺたぺたペタンもちつき大会  
熊谷運動公園でもちつき大会が行われ、参加者たちはもちつき体験やレクリエーションをとおし、親子の絆や友だちとの交流を深めました。



1月13日  
成人式  
熊谷スポーツ文化公園彩の国くまがやドーム体育館で成人式が行われ、1,798人が出席しました。



12月11日  
和紙絵の橋本さん市長表敬  
「葦刈り」で第22回日本和紙絵画賞を受賞した、妻沼公民館 和紙絵同好会の橋本イセさんが市長を表敬訪問しました。

橋本さんご夫妻と富岡市長



12月10日  
「猛暑日」のユーキャン新語・流行語大賞授賞式出席を報告

2007年ユーキャン新語・流行語大賞のトップ10に「猛暑日」が入ったことから、12月3日に行われた授賞式に出席された、なおぎね商店街滝沢寧和会長が、同商店街の役員とともに市長室を訪れ、授賞式当日の様子などを語りました。



12月16日  
国際交流パーティー  
商工会館大ホールで行われたパーティーに、14か国91人の外国人を含め約190人が参加し、アフリカンダンスや歌などで大いに盛り上がりました。



アトラクションで行われたたなでこ保育園園児の和太鼓演奏

12月11日  
年末年始特別警戒出陣式  
コミュニティひろばで年末年始特別警戒出陣式が開催され、防犯や交通事故防止に向けて、熊谷警察署をはじめ防犯・交通関係団体が一致団結して取り組んでいくことを確認しました。



12月24日  
熊谷市名誉市民・前熊谷市長故小林一夫氏合同葬  
平成19年12月13日に逝去された熊谷市名誉市民・前熊谷市長小林一夫氏の熊谷市・小林家合同葬が、「熊谷文化創造館さくらめいと」で、しめやかに行われ、3,000人の参列者が最後の別れを惜しまました。

## おたよりパレット

市報クイズ12月号で寄せられたご意見を紹介します。  
テーマ 熊谷めぬまグライダーフェスタ

まだ見に行ったことがないので、ぜひ一度行ってみたいです。目の前で実物を見た時の驚き、乗る人の勇気やワクワク感、色々な思いが胸を駆け巡り興味が湧いてきました。(40代・女性)  
毎年「歩こう会」とグライダーフェスタに参加するのを楽しみにしております。今年も楽しみです。(60代・男性)  
参加したい気持ちと、初めてで怖いという気持ちがあります。乗ってみたいなあ、でもこわい。子どもたちの大空への限りない「憧れ」を大きく育てるため、また、大人たちも共に楽しむ素晴らしい催しとして、フェスタの大成功を祈っております。(70代・男性)



市民から寄せられたイラスト

グライダーは環境にもやさしいし、空を飛ぶという普通の生活の中では体験できないことを、イベントを通して皆に体験してほしいです。(40代・女性)  
初めて知りました。こんな楽しそうなフェスタを知らなかったのが今年から参加したいです。搭乗体験もできるなんてすごい。申込んでみようか考え中です。(50代・女性)

グライダーに馴染みのある方、知らなかった方など様々ですが、ぜひ今年のフェスタには参加して、全国的にも珍しいイベントを、直接体験して下さい。  
市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/> でも、更に詳しく紹介しています。

市民活動 地球温暖化  
応募総数 81通中、正解 77通

《12月号の正解》  
《応募方法》ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「入園・入学・就職」についてのコメントを必ず記入のうえ、2月22日(金)までにご応募ください(1人につき1通)  
(Eメールアドレス) [kohokocho@city.kumagaya.lg.jp](mailto:kohokocho@city.kumagaya.lg.jp)  
《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課  
当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



月見町 2-1-65、年中無休(メンテナンスのため休みの場合あり)。  
☎048-525-4126

## 読んで当てよう!

《今月の問題》  
次の□に入ることを、それぞれお答えください。平成20年度に開催される高校総体の中で、熊谷市では陸上競技と□競技が開催されます。  
熊谷市市民活動□センタールが、3月1日(土)にオンラインします。  
《今月のプレゼント》  
熊谷温泉 湯楽の里ご提供の、「入浴無料券」を、正解者の中から抽選で30人に差し上げます。



市報クイズ

今月のテーマ「入園・入学・就職」についていただいたコメントは、おたよりパレットや市ホームページで紹介させていただく場合があります。

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課内線212までお問合せください。



とき 3月1日(土)  
10時～15時 雨天・強風中止

ところ 妻沼グライダー滑空場  
(利根川河川敷)

妻沼行政センター産業課  
☎048-588-1321

風と遊ぼう!

熊谷めめまグライダーフェスタ2008

年に一度のグライダーの祭典「熊谷めめまグライダーフェスタ」が、今年も開催されます。見て・触れて・楽しめるイベントが盛りだくさんです。ぜひ、ご家族皆さんでご参加ください。

第48回  
全日本学生グライダー  
競技選手権大会

大会期間  
3月1日(土)～9日(日)  
グライダーフェスタは、第48回全日本学生グライダー競技選手権大会の開会式にあわせて開催されます。  
はるか上空を舞台に繰り広げられる学生たちの熱い戦いを、どうぞご覧ください。



グライダーに親しむ

グライダーのコックピットに乗る子どもたち。こんな体験ができるのもグライダーフェスタならではのです。



ぎんこなべ  
吟子鍋

すっかりフェスタの名物となった「吟子鍋」。心も体も温まる郷土の味です。



ブラスバンド演奏

フェスタに華を添える妻沼東演奏部のブラスバンド演奏。日ごろの練習の成果を發揮し、訪れる人々を楽しませます。



戦前の名機  
ミニモアの飛行

飛行時間  
1回目 9時50分  
2回目 13時30分

ミニモアは、世界で3機しか飛行していない、木製のペンテージグライダーです。「ガル・ウィング」と呼ばれる、羽を広げたカモメのような美しい機体は、「空の貴婦人」と称され、70年前に作られた機体が優雅に大空を舞います。



鳥のように飛行するミニモア  
撮影：山康博氏

叶えたい皆さん、大空を翔るグライダーに乗って、空中散歩に出かけましょう。熊谷市をはるか上空から眺める極上の時間を楽しむチャンスです。  
申込み 当日会場で9時30分から受付  
定員 15人(抽選)

体験搭乗には、熊谷市所有のグライダー「めめま号」も使用されます。

日本公許登録女医第1号の荻野吟子にちなんだ吟子鍋は、地産の野菜に、理想郷づくりを目指して、夫とともに開拓に渡った北海道のじゃがいもと鮭を加えた、味噌仕立ての鍋です。



無料サービスは毎年大人気で、大勢の人々が列をなします。

模型グライダーづくり  
講習会

めめま模型グライダー愛好会の指導を受けながら、発泡スチロール製の精巧な模型グライダーを作ります。あなただけのグライダーを作ってみませんか。  
申込み 当日会場で11時から受付  
定員 先着100人  
費用 無料

グライダー体験  
搭乗者募集

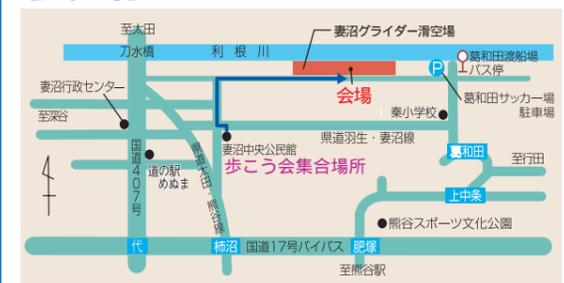
「一度グライダーに乗ってみたい!」そんな希望を

名物「吟子鍋」の  
無料サービス

配布時間 11時30分頃  
無くなり次第終了します。

その他にも...  
・地元特産品の販売  
・各種模擬店等

会場案内



は「利根川堤を歩こう会」のコース。

お車の場合葛和田サッカー場駐車場をご利用ください。  
バスの場合JR熊谷駅、葛和田行き終点下車

同時開催  
「利根川堤を歩こう会」参加者募集

妻沼中央公民館からグライダーフェスタ会場までの、片道約5kmを歩きます。  
とき 3月1日(土)  
9時(集合)、9時30分(出発)  
集合場所 妻沼中央公民館  
費用 無料  
フェスタ会場に到着後、自由解散。参加希望の方は、当日、直接妻沼中央公民館にお越しください。  
妻沼行政センター産業課



金井さんが操縦するグライダー「ミニモア」



# 35年の経験とともに

## グライダーの魅力伝える

めめまグライダークラブ副会長

金井 修二さん(妻沼東)

### 空への憧れを現実に

私は、母校日本大学でグライダーに初めて出会いました。中学生のときから、「空を飛んでみたい!」という思いは持ち続けていました。セスナ機などの飛行クラブは結構費用もかかる。そこで、グライダー部なら手が届くんじゃないかと思いつきました。

当時は東京に住んでいましたが、大会などのたびに妻沼の滑空場を訪れ、飛行経験を積みました。そして、大学在学中に教官のライセンスを取得し、卒業後は後輩を指導する傍ら、グライダー仲間とともに飛び続けてきました。15年前に、縁あって妻沼に越してきて、現在までの経験年数は35年、飛行回数は約1万回、時間になると1500時間くらいになりますかね。

グライダーにはエンジンなどの動力が一切ありません。気流などの気象条件を読み、自然と一体になりながら飛ぶんです。同じ気象条件なら、高く遠くまで飛ぶには長年の経験と勉強が必要で、だからこそグライダーは奥が深い。私だってまだまだヒヨッコです。向上心は常に持ち続けていますよ。

### 空の世界は「爽快」の一言

飛んでいるときの気持ちは「爽快」の一言に尽きますね。家も車も小さくなって、目の前に広がる世界が、小さな悩みなど吹き飛ばしてくれそうですよ。この感動は何度飛んでも変わりません。

でも、事故は決して許されないので、安全の確保だけは常に念頭に置いています。人間にミスは付き物ですが、そのミスを致命的なものにしないために、急な状況変化にも適切に対応できるように訓練しなくてはなりません。

### グライダークラブの仲間とともに

平成8年発足のめめまグライダークラブには、現在25名が所属し、和気あいあい活動しています。まったくの素人であった仲間の上達をサポートし、ソロ(一人)で飛べるようになったときは、私も本当にうれしく思います。

また、私たちは、市が主催する搭乗会やグライダーフェスタなどのイベントに協力するなど、グライダーの魅力を広めるための活動にも力を入れています。一人でも多くの方に、グライダーの素晴らしさを体験してもらえようこれからも頑張りますよ。

### 地場産農産物で



30・31ページ特集の「熊谷めめまグライダーフェスタ」会場でも、無料配布されます。

### 荻野吟子ゆかりの食材で作る郷土の味

#### 「吟子鍋」

鍋に油を熱し、ごぼうに油がよくしみ込むまで炒める。

大和芋、にんじん、じゃがいもを炒め、用意しておいただし汁を入れて煮る。浮いてくるアクをすくい取る。

野菜が柔らかくなったら、ねぎ・鮭を入れ、味噌を入れて、ひと煮立ちしたら火を止め、ゆでておいたほうれん草を混ぜる。



#### 『一言アドバイス』

数種類の野菜を組み合わせる“吟子鍋”は、一日にとりたい野菜量の1/3程度と、鮭の良質なたんぱく質がとれる汁物です。身体を芯から温めてくれる寒い季節にぴったりのメニューです。

健康づくり課 ☎048-528-0601

#### 材料(4人分)

生鮭	2切160g	ごぼう	小1本100g
じゃがいも	中2個150g	ねぎ	1本
大和芋	中1本150g	味噌	約50g
にんじん	中1本100g	だし汁	約6カップ
ほうれん草	1/3束100g	油	小さじ1~2

#### 作り方

生鮭は、1切を4つ位に切って湯がいておく。また、ほうれん草は、ゆでて3cm位の長さに切っておく。ごぼうは、包丁の背で皮をこそげ取り、斜め切りにし、水に浸してアクを抜く。ねぎも斜め切にしておく。大和芋、にんじん、じゃがいもは、一口大の大きさに切る。

#### 人口と世帯 平成20年1月1日現在(対前月比)

人口 207,088人(+19) 男 103,788人(+5) 女 103,300人(+14) 世帯 80,625(+18)

「市報くまがや」は、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/> 「市報くまがや」は毎月1日(原則)に発行します。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。